

全国B.M.C.(全国宴会支配人協議会)からの月1回の通信です。

内容:

・2014年15大ニュース

・ジュンブライドとBMC

・名古屋いいね

名古屋 B.M.C.

編集後記

2014年15大ニュース

2014年が終ろうとしています。今年は冬季オリンピックやサッカーワールドカップを始め、たくさんのニュースがありました。その中でホテルに関係するものと個人的に気になるニュースをピックアップしてみました。

・1月 理化学研究所がSTAP細胞の作成に成功。(6月に撤回を発表)

・2月 佐村河内氏が他者(新垣氏)に作曲を依頼していたことを発表。

・2月 ソチオリンピック開催。日本は金メダル1個、銀メダル4個、銅メダル3個を獲得。

・3月 大阪にあべのハル

カスが完成。施設内に大阪マリオット都ホテルが開業。

・4月 消費税が5%から8%に増税。同時に領収書等の印紙税の非課税が5万円に引き上げられる。

・6月 虎ノ門ヒルズ竣工。アンダーズ東京が入居。

・6月 富岡製糸場が世界文化遺産に登録決定。

・6月 FIFA ワールドカップブラジル大会が開催。

・7月 日本マクドナルドとファミリーマートが保存期間切れの鶏肉を使用している可能性があるとしてチキンナゲットの販売を中止。

・8月 広島市で大規模土砂災害発生。

・9月 御嶽山が噴火。

・10月 日本人3人がノーベル物理学賞を受賞。

・10月 典子女王の結婚式が執り行われる。

・11月 長野県神城断層地震が発生。

・12月 衆議院が解散。総選挙の結果は自民党の圧勝となる。

他にも気になるニュースはありますが、業界にとってマイナスになるようなニュースはなかったですね。

来年はもっと良い年でありますように。

以上

全国BMC

会長 伊藤 保

ジュンブライドとBMC

インターネットにジュンブライドとBMCの関係について掲載されていました。以下抜粋して紹介します。ご存知のように6月に結婚した花嫁は幸せになれるという『ジュンブライド』とは、もともとはヨーロッパからの伝承だそうです。では何故ヨーロッパでのウェディングカルチャーが日本で広まったのでしょうか。

「私たちが最初かも。それまで聞いたことは無かったよ」そう話すのは、ホテルオークラ(東京)元副社長の橋本保雄さん。自ら業界に呼び掛けて発足させた全国BMC(宴会支配人会)で1967~68年頃、ホールで結婚式を挙げてもらうための宣伝文句として『ジュンブライド』を提案されたそう。良いアイデア

はないかと海外の婚礼事情を調べるうちに知られた言葉だと言います。

こういったルートを通して遥々日本にやって来たジュンブライド、その月別婚姻件数にライトを当ててみましょう。とても聞こえの良い諸説が存在しますがその件数もさぞかし抜群に多いのでしょうか……と聞いていましたが、その間逆が我が国・日本での実情でした。54,377件——これは8月、9月、1月に次いで低い件数です。

この数字だけ見ても、6月はお世辞にも結婚式シーズンとは言えないようです。しかしその理由は言うまでも無くすぐにお察しのことと思います。そう、雨です。6月は日本では最も降水量の多い、梅雨だからです。雨が

しとしと降る中を招待客にきてもらうのは悪いし、せつかくの結婚式、晴れた空の下で行いたいという人情による結果でもあるのでしょうか。

こういったデータを総合すると、ホテルオークラの橋本さんがジュンブライドを“ホールで結婚式を挙げてもらうため”に提案されたとありますが、その裏には、梅雨の影響により“どうしても客足が遠のきがちな6月の結婚業界の経営不振を払拭するため”に花嫁は縁起がいいというヨーロッパの情報を声高に謳って国民に浸透させたというリアルストーリーがあると捉えて良いでしょう。(東條恭子)

<http://www.excite.co.jp/News/laurier/mariage/E1305023242848.html>

名古屋いいね！

皆様こんにちは。名古屋 B.M.C.会長の浅野です。

まずは7月に開催されました全国 B.M.C.夏期研修会と、名古屋 B.M.C.創立 40周年記念行事に、全国から多数の方にお集まりいただき、誠にありがとうございました。

今回は「おもてなし」というキーワードで名古屋 B.M.C.会員一同、全国の皆様に少しでも楽しんで？（驚いて？）いただけるよう、そして「名古屋だよね」といっていただけるよう、いろいろと企

画をし、運営させていただきました。皆様から、御礼のお言葉を頂戴する度に、楽しんでいただけたのではないかと実感しております。

さて、「名古屋いいね！」で前回いろいろと掲載してまい、今回「名古屋いいね！」が思い浮かばず……！！ 12月10日夕（日本時間11日未明）にストックホルムのコンサートホールにて2014年のノーベル賞授賞式が行われました。

今回日本人として、ノーベ

ル賞を授賞されたのは、物理学賞の赤崎勇先生（名城大学教授）、天野浩之先生（名古屋大学教授）、中村修二先生（米カリフォルニア大学教授）の3名です。授賞理由は皆様もご存知の、青色LEDの発明です。このLED、最初は赤ができ、間もなく緑ができました。赤と緑、そして青が発明された事により光の三原色が成立し、組み合わせると白い光が得られ色々な場所で使われるようになりました。

全国 B.M.C.

2013-2014 年度会長

ホテルグランヴィア京都
伊藤 保

〒600-8216
京都市下京区烏丸通
塩小路下る東塩小路町 901
京都駅ビル内

[TEL:075-344-8888](tel:075-344-8888)

FAX:075-344-4400

E-MAIL:
ito@granvia-kyoto.co.jp

Web サイト

URL:
<http://www.e-bmc.com/>

1960年代から産業界や大学の研究所は、青を作ろうと努力しましたが、作製に必要な窒素ガリウムの結晶は作れなかったそうです。あまりにも難しすぎたそうです。

その難しいとされる課題にチャレンジし続けた、赤崎先生と天野先生は師弟関係にあり、世界の研究者が断念した窒素ガリウムを1989年についに開発されました。実はこのLEDが世界で初めて青い光を発したのが、愛知県清須市にある、豊田合成㈱の春日工場だそうです。最

初はホテルのようにかすかな光だったそうですが、人類にとっては大きな光だったと思います。

このように、名古屋大学・名城大学・豊田合成と、この名古屋の地から世界的に功績を認められた先生、そしてその先生をサポートした企業が、輩出されましたことに、とても誇りを感じております。

名古屋は昔から「ものづくり」の街といわれています。今回の授賞を機会に、ものづくり名古屋の街が活気づ

き、名古屋の経済が活気づき、そして全国へと広がり、わたくしたちが働くサービス産業もその波に乗っていきけるようにと思います。

是非ともまたこの名古屋の地に遊びにお越しいただき、「ものづくり名古屋」を体感しに来て下さい。

名古屋 B.M.C.会長
浅野 哲也

編集後記

12月に入り急に悪天候が続いていますね。2日は日本海側を中心に強風。17日から18日にかけては全国的に雪。東海道新幹線もダイヤが乱れていました。名古屋は観測史上2番目の積雪と聞きました。北海道出身でスキーが大好きな私にとっては12月からこれくらいの大雪は嬉しいのですが、生活に支障をきたすほどの雪は困りますね。

みなさん、選挙は行かれましたか。私は初めて出口

調査というものを受けました。こうした独自調査をもとに当選確実の予測をしているようです。「どこに投票しても一緒だ」と言っている人がいますが、どの政党も政策や主張は全く違います。選挙権は権利であると同時に義務でもあるような気がします。

日本漢字能力検定協会が毎年行なっている今年の漢字は「税」でした。

ちなみに2位は「熱」オリンピックやワールドカップ、全米テニスオープンなどの熱

戦に熱狂したということだそうです。私はこちらのほうが幸せでいいですね。

さて4年間皆さまの協力を得ながら続けてきましたこのBMC Timesも次号で最終となります。

■「いいね！」の予定
12月・・・名古屋(今回掲載)
1月・・・北陸(次回掲載)

次回北陸 B.M.C.湯上会長です。北陸を PR してください。